

鳥取県千代川地域

重点プロジェクト(*)名称 主伐再造林推進プロジェクト

千代川流域における主伐再造林の推進の取り組み

～低コスト林業の推進と素材生産量の増加を目指して～

現状と課題

千代川流域地域は、鳥取県東部の1市4町で構成され、林野面積約120,871ha、森林率80%の豊かな森林を持つ地域です。古くから林業が盛んで、特に「智頭杉」は全国的にも高い評価を受けてきた。

ここ数年、間伐を中心とした素材生産を行っているため、森林整備が必要な森林が奥地化し、素材生産量が伸び悩んでいる。また、当流域のスギ、ヒノキの林齢ピークは12歳級となり主伐期を迎え、再造林を推進し林齢構成の平準化を図る必要がある。

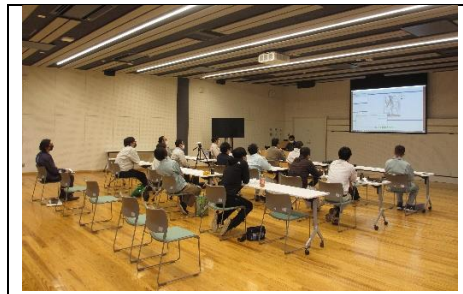


図1 協議会における研修会の開催

取組概要

- 林業成長産業化地域構想において主伐再造林の推進を重点プロジェクトに位置付け、取り組みの強化
- モデル事業(ソフト)を活用し協議会で研修会の開催、他県の先進地視察の実施
- 伐採・地拵え・植栽を連続して行う皆伐再造林一貫作業の取り組み、問題点の把握
- コンテナ苗・早生樹の活用、低密度植栽による再造林の低コスト化の取り組み
- 皆伐再造林推進強化事業を活用し、主伐現場から林地残材を搬出し、再造林を効率的に進める取り組み



図2 主伐再造林の取り組み

取組の成果・効果

- 主伐再造林の実施面積
 - ・令和元年度 5.14ha
 - ・令和2年度 15.04ha
 - ・令和3年度 25.36ha
- 皆伐の生産コスト
 - ・平成28年度 7,001円/m³→令和3年度 6,086円/m³



図3 早生樹(コウヨウザン)の植栽

取組が進んだ要因

一部の林業事業者は以下の方策を講じることにより、森林所有者の主伐再造林への抵抗感を軽減し、作業の同意を得ることができた。

- 皆伐後の再造林・保育の費用負担の解決
- シカ被害対策の実施
- 造林補助金、鳥取森林づくり基金等の活用



図4 シカ柵の設置

これから取組む地域へのアドバイス

森林所有者の主伐再造林の抵抗感を軽減する仕組みを構築する。

【担当】
鳥取県東部農林事務所八頭事務所農林業振興課 高力 優
【連絡先】
メール：kourikim@pref.tottori.jp
電話：0858-72-3832
URL：